

2 療育福祉センター利用者を対象としたアンケート調査結果

[アンケートの対象者]

- ・平成22年度に療育福祉センターの整形外科及び小児科(精神疾患等を除く)を受診された方 (322人)
- ・平成22年度に療育福祉センターのリハビリテーションを利用した方 (288人)

[調査の方法]

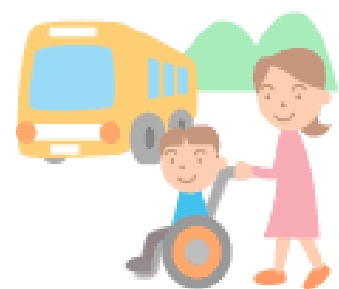
療育福祉センターが対象者に調査票を送付(郵送法)

[実施期間]

平成23年6月1日～6月15日(到着分まで)

[回収率]

・調査対象者数:610人 ・回答数:214人 (回収率 35%)



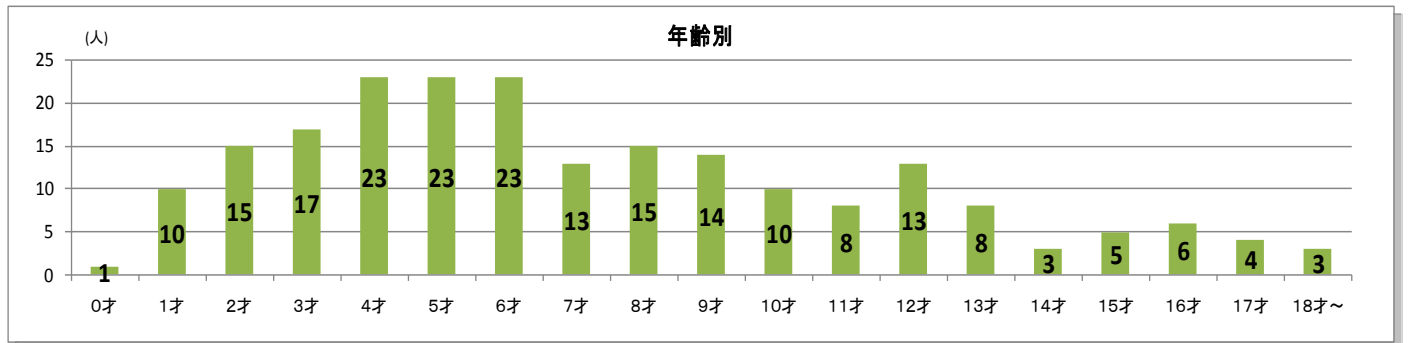
[アンケート集計結果]

○本人の状況

設問1 障害のある方ご本人のお住まいの市町村、年齢、性別、就学の状況をお答えください。

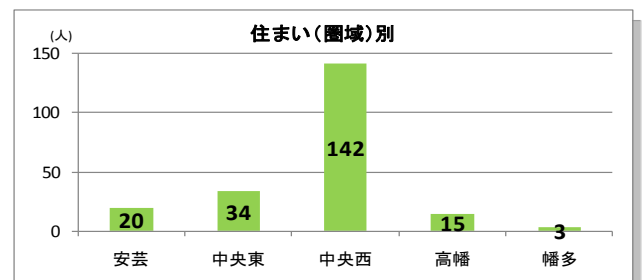
1) 年齢別

5才以下が 89 人(42%)、6～11才以下が 83 人(39%)で、小学生以下が全体の8割を占める。



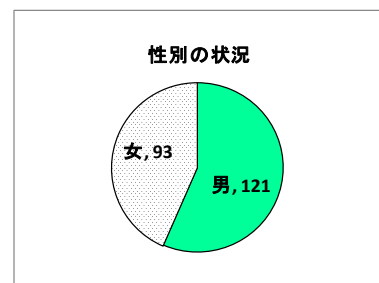
2) 住まい(圏域別)

中央西圏域が 66% (うち高知市は 118 人(55%))と最も多く、幡多圏域が3人と最も少ない。



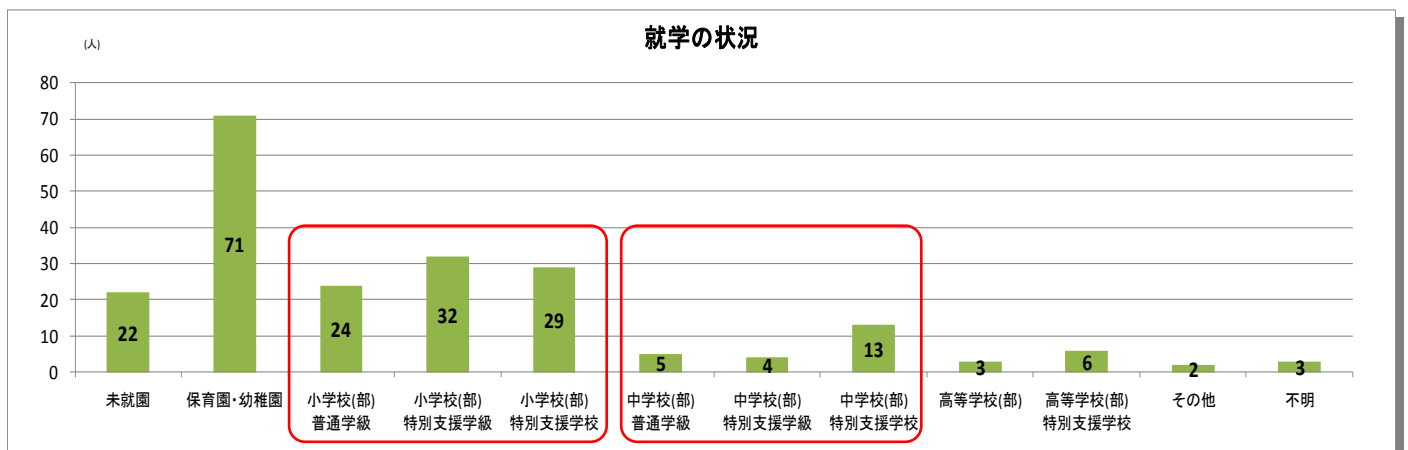
3) 性別の状況

男性 121 人 (57%)、女性 93 人 (43%)



4) 就学の状況

小学校(部)では、普通学級、特別支援学級、特別支援学校がほぼ同じ割合(人数)だが、中学校(部)になると、特別支援学校の割合が増加している。



○障害の状況

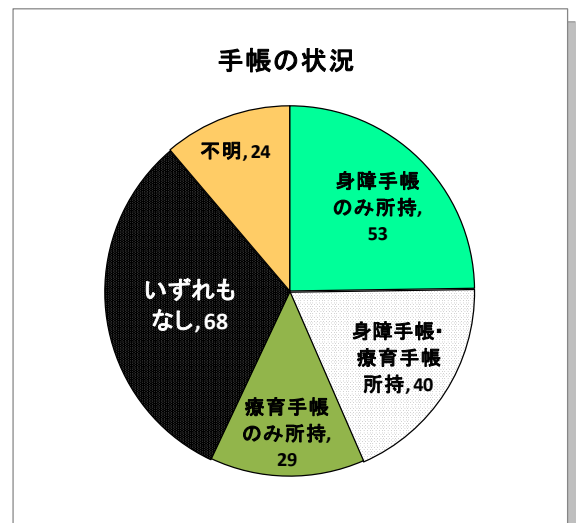
設問2 障害のある方ご本人の障害についてお答えください。当てはまるものすべてに○をしてください。

① 身体障害者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級	無
障害の部位	・ 視覚障害 ・ 音声・言語・そしゃく機能障害 ・ 肢体不自由			・ 聴覚・平衡機能障害 ・ 内部障害(心臓や内臓等の機能障害)			
② 療育手帳	A1	A2	B1	B2	無		
③ 疾病名	・ 脳性麻痺 ・ その他(・ 脳性運動障害		・ 二分脊椎		・ 運動発達遅滞

1)手帳の状況

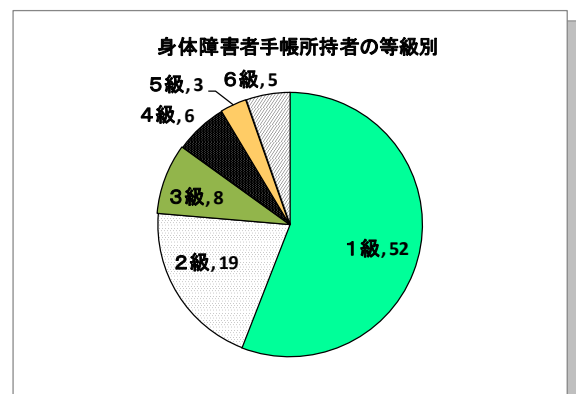
- ・ 身体障害者手帳を所持している方は93人(43%)
- ・ 身体障害者手帳と療育手帳の両方を所持している方は40人(19%)
- ・ 「手帳なし」が68人(32%)と多いのは、低年齢の方が多いためと考えられる。

※回答が全て空欄の場合は「不明」とし、手帳のいずれかのみを記入している場合は、回答のあった手帳のみ所持とした。



2)身体障害者手帳所持者の等級別

1級が52人(56%)、2級が19人(20%)で、合わせて全体の約4分の3を占めている。

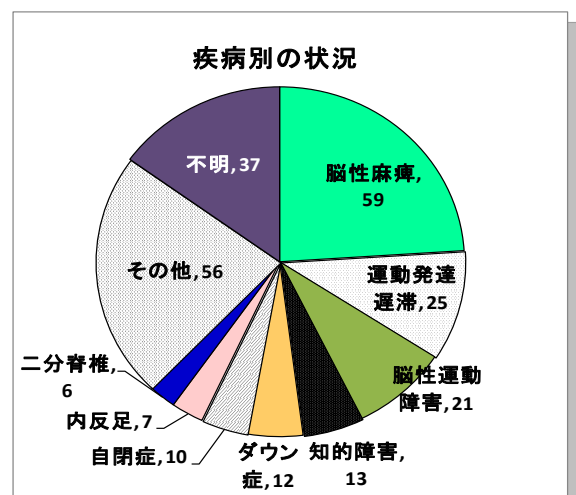


3)疾病別の状況

脳性麻痺が59人(28%)で最も多く、続いて運動発達遅滞が25人(12%)、脳性運動障害が21人(10%)となっている。

※その他の疾病の主なもの

- ・てんかん 5人
- ・ADHD 5人



※複数回答あり

○外来診療、訪問診療又は往診の状況

設問3 現在、障害のある方ご本人は、どのような医療(診療、訪問診療、往診、訪問看護、リハビリテーション)を受けていますか。あてはまるものすべて○をして、医療機関名や平均の受診等回数を記入してください。

※医療機関名が県外の場合は県外に○をしてください。

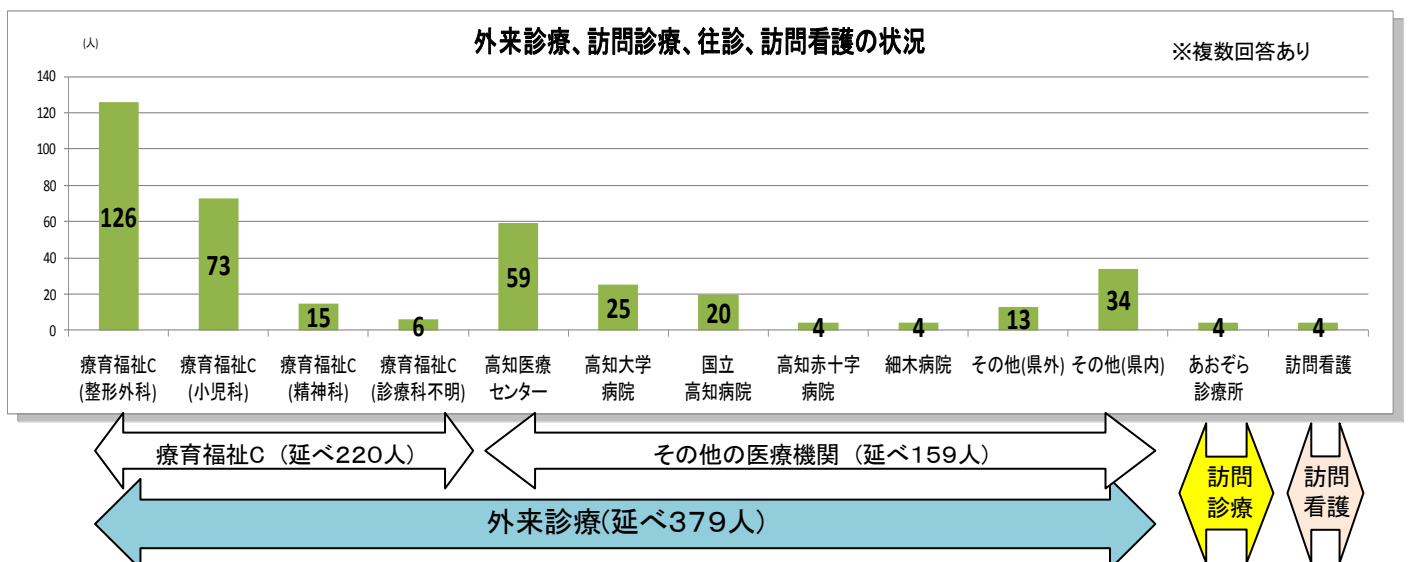
		あてはまるものに○	医療機関名と受診等回数を記入してください。
診療 (外来診療)	療育福祉センター		小児科〔__ヶ月に__回〕 整形外科〔__ヶ月に__回〕 精神科〔__ヶ月に__回〕
	その他の医療機関		医療機関名: _____ 県外〔__ヶ月に__回〕 医療機関名: _____ 県外〔__ヶ月に__回〕
訪問診療または往診			医療機関名: _____ 〔__ヶ月に__回〕
訪問看護			医療機関名: _____ 〔__ヶ月に__回〕
リハビリテーション	理学療法	療育福祉センター	〔__ヶ月に__回〕
		その他の医療機関	医療機関名: _____ 県外〔__ヶ月に__回〕
	作業療法	療育福祉センター	〔__ヶ月に__回〕
		その他の医療機関	医療機関名: _____ 県外〔__ヶ月に__回〕
	言語聴覚療法	療育福祉センター	〔__ヶ月に__回〕
		その他の医療機関	医療機関名: _____ 県外〔__ヶ月に__回〕

1) 外来診療、訪問診療または往診、訪問看護の状況

療育福祉センター整形外科が126人、小児科73人で、その他の医療機関では高知医療センターが59人となっている。(※なお、その他の医療機関の診療科を調査項目としていないため、どの診療科を受診しているのかは不明。)

県外の医療機関は、香川小児病院が5人、岡山大学病院が3人などとなっている。

訪問看護は、4人のうち2人は「訪問看護ステーションおたすけまん」を利用している。



2) 外来診療の受診状況

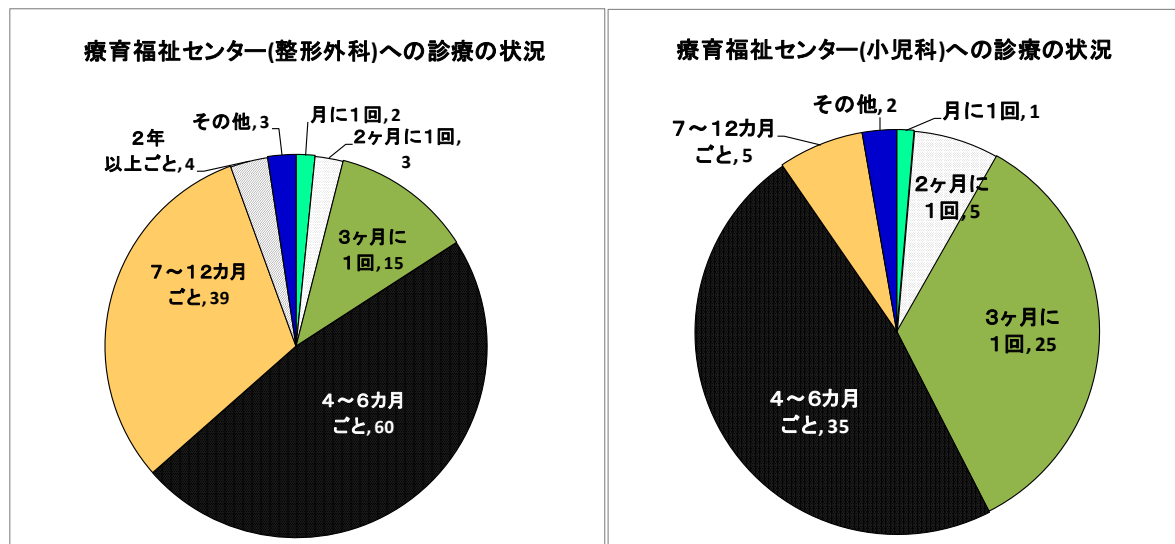
① 療育福祉センターの受診状況

ア 整形外科

4～6ヶ月が60人、7～12ヶ月が39人となっており、合わせて(年1～3回が)99人で全体の79%を占める。

イ 小児科

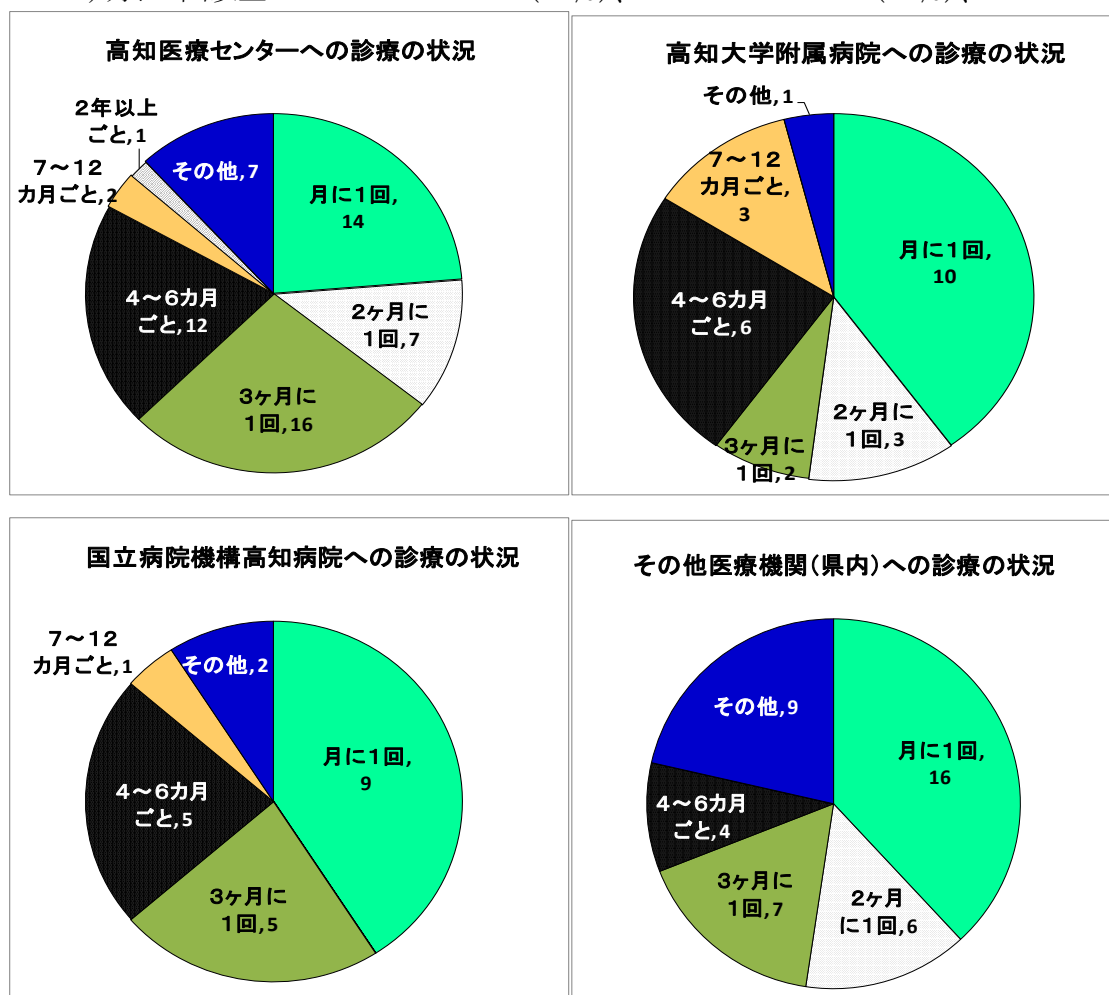
3ヶ月に1回が25人、4～6ヶ月が35人となっており、合わせて(年2～4回が)60人で全体の82%を占める。



② 他の医療機関の受診状況

月に1回 ……高知医療センター(24%)、高知大学附属病院(40%)、国立病院機構高知病院(41%)

3ヶ月に1回以上…… ” (54%)、 ” (44%)、 ” (50%)



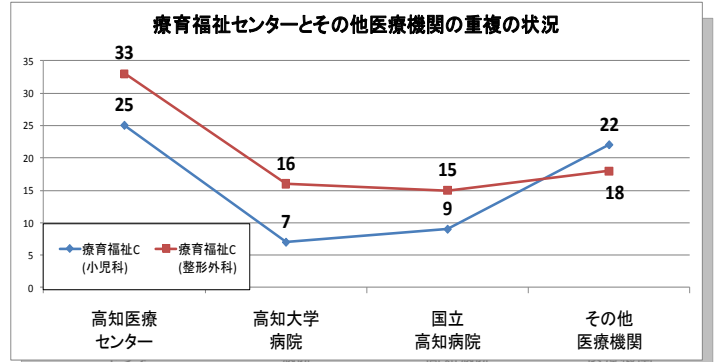
③ 療育福祉センターと他の医療機関を重複して受診している方の状況

小児科、整形外科とも、多くの方が他の医療機関を受診している。

【重複の割合】

- ・ 小児科 86% (63/73)
- ・ 整形外科 65% (82/126)

※ 他の医療機関の診療科を調査項目としていないため、どの診療科を受診しているのかは不明。

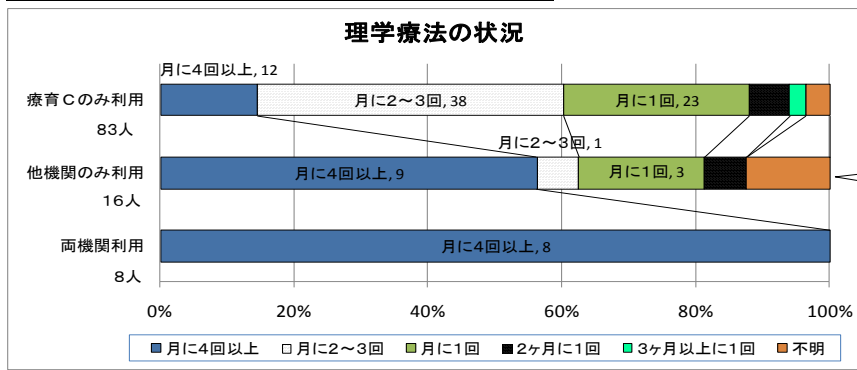


3) リハビリテーションの状況

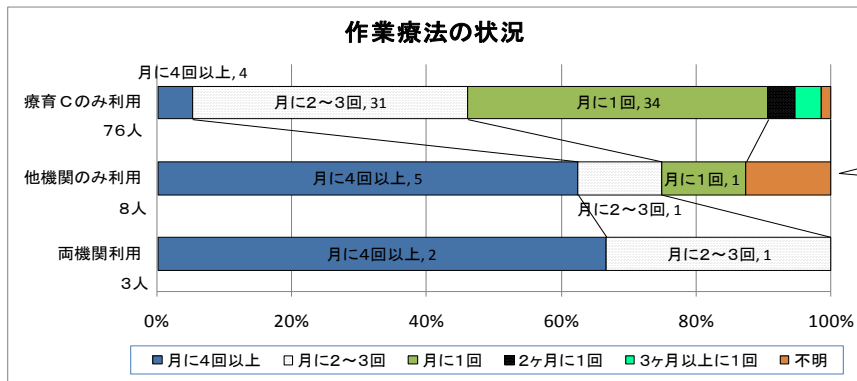
理学療法、作業療法、言語聴覚療法とも、他の医療機関も受診している方がおり、特に言語聴覚療法は 39%と多くなっている。

(単位:人)

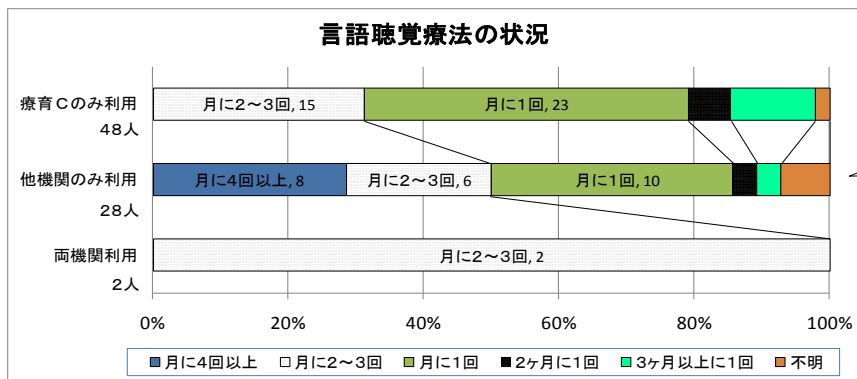
	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
療育Cのみ利用	83 (78%)	76 (87%)	48 (62%)
他機関のみ利用	16 (15%)	8 (9%)	28 (36%)
両機関利用	8 (7%)	3 (3%)	2 (3%)
計	107	87	78



他の医療機関のみ利用
(16人の内訳)
・ 田野病院 4人
・ 土佐希望の家 2人
ほか

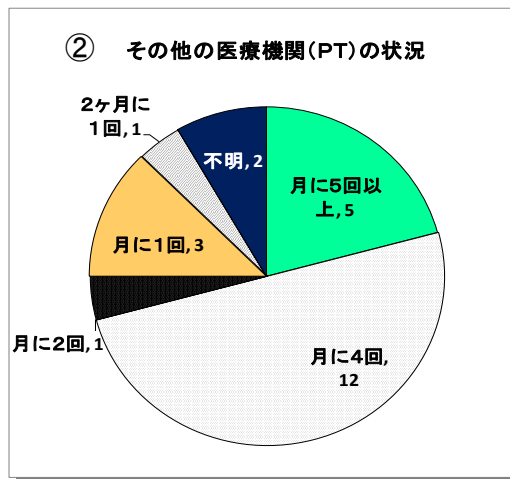
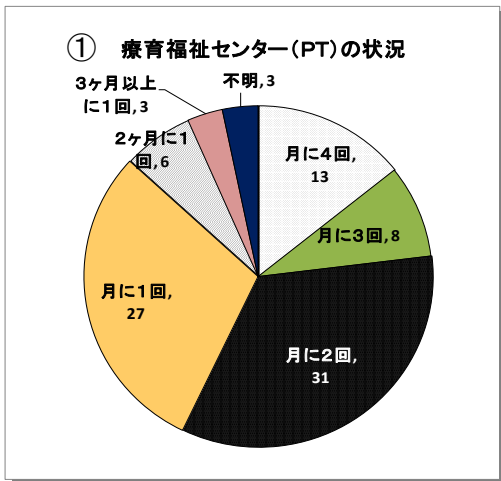


他の医療機関のみ利用
(8人の内訳)
・ 土佐希望の家 3人
・ 田野病院 1人
・ 細木病院 1人
ほか

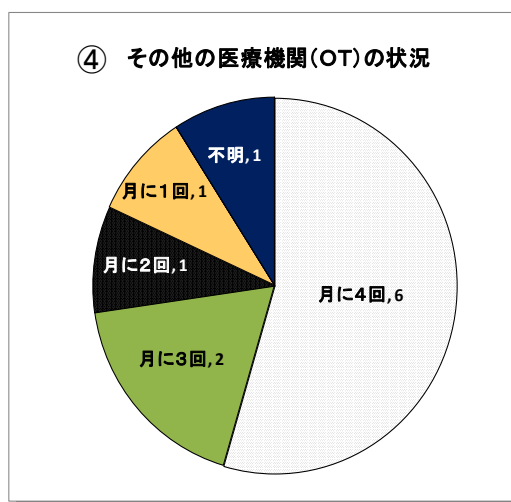
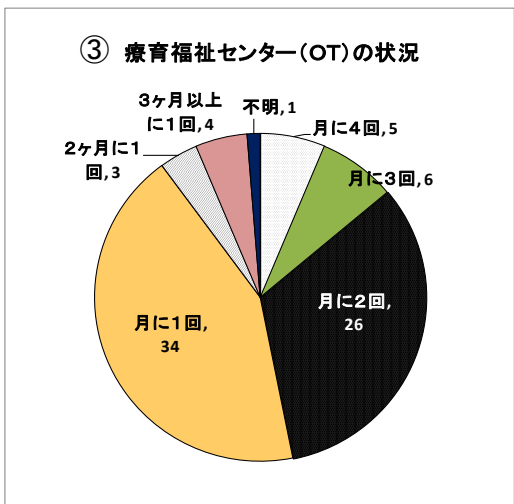


他の医療機関のみ利用
(28人の内訳)
・ 野市中央病院 6人
・ 土佐希望の家 4人
・ 田野病院 3人
ほか

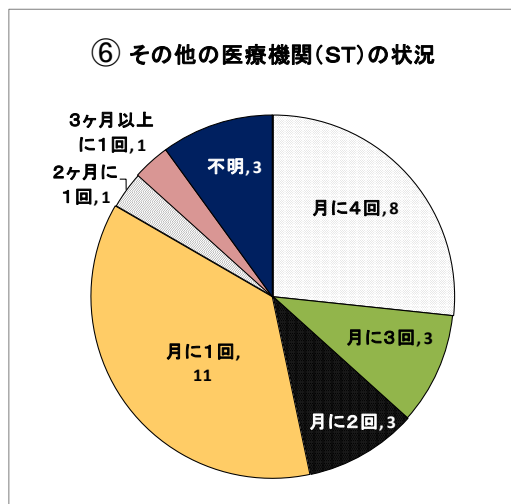
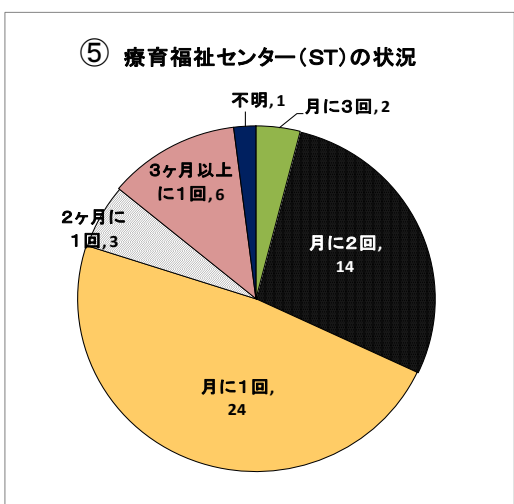
<理学療法(PT)>



<作業療法(OT)>



<言語聴覚療法(ST)>



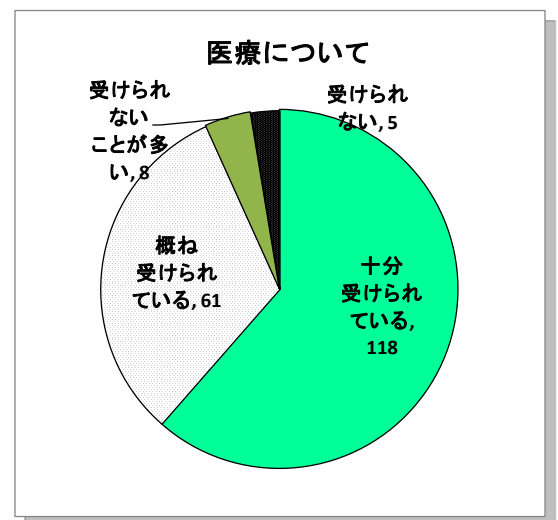
設問4 「設問3」でお答えいただいた医療について、あてはまるものに○をしてください。

- ・ 必要な医療が十分受けられている。
- ・ 十分ではないが、必要な医療はおおむね受けられている。
 (どのような医療をどのように充実すべきなど、ご意見があれば記入してください。)
- ・ 必要な医療を受けられないことが多い。
 (どのような医療がどれくらい受けられないことが多いのか、記入してください。)
- ・ 必要な医療を受けられない。
 (どのような医療を受けられないのか、また、その医療はどれくらいの回数受ける必要があるか、記入してください。)

1) 必要な医療が十分受けられているか

「十分又は概ね必要な医療が受けられている」との回答が約93%となっている。

しかし、「概ね受けられている」という方の中でも、多くの方から『予約が取れない』といった意見をいただいております、十分満足できている状況ではないと考えられる。



◎意見の要旨

- ・ (診察もリハビリも)なかなか予約が取れない。(同様の意見:26件)
- ・ リハビリの回数が少ない。
- ・ 心配ごとができたときに受診できず、受診時まで悩み不安等を抱え、いざ診察日には解消している。
- ・ 医師が不足している。常勤の医師を確保してほしい。(同様の意見:7件)
- ・ 整形の手術など県外で行う必要がないよう、高知で安心して行えるようにしてほしい。
- ・ どのようなことに気をつけるとか、これからの子どもの成長について教えてほしい。診療やリハビリが今のペースでいいのかもよく分からない。
- ・ 病状について、情報をもっといれてほしい。
- ・ 遠方のためになかなか通うことができない。
- ・ 仕事や家庭の事情で、なかなか通うことができない。(同様の意見:4件)
- ・ 県東部には療育施設がなく、2時間かけて通うが、東部に小児から大人まで利用できる施設をつくって欲しい。
- ・ 子供が人見知りなので、音楽をかけたり、何かリラックスできそうなことがあればいいと思う。
- ・ リハビリ向上、技術向上。

○福祉サービス等の利用状況

設問5 現在、障害のある方ご本人は、どのような福祉サービス等を利用していますか。

あてはまるものにすべて○をして、事業所名や月平均の利用時間、利用日数を記入してください。

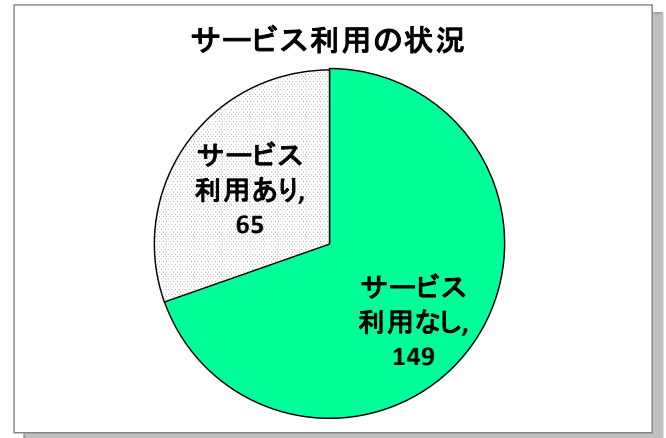
項目		あてはまるものに○	事業所名	利用時間 利用日数
訪問系	居宅介護(ホームヘルプサービス) 重度訪問介護		事業所名: _____	1ヶ月に _____ 時間
			事業所名: _____	1ヶ月に _____ 時間
	移動支援		事業所名: _____	1ヶ月に _____ 時間
通所系	生活介護サービス		事業所名: _____	1ヶ月に _____ 日
	児童デイサービス		事業所名: _____	1ヶ月に _____ 日
	重症心身障害児(者) 通園事業		土佐希望の家	1ヶ月に _____ 日
			国立病院機構 高知病院	1ヶ月に _____ 日
			幡多希望の家	1ヶ月に _____ 日
	その他の通所・通園施設		肢体不自由児通園施設(療育福祉センターこじか)	1ヶ月に _____ 日
			知的障害児通園施設(南海学園やいろ)	1ヶ月に _____ 日
		高知市ひまわり園	1ヶ月に _____ 日	
		その他の通所・通園施設 事業所名: _____	1ヶ月に _____ 日	
ショートステイ 短期入所 日中一時支援	宿泊を伴うもの		療育福祉センター	1ヶ月に _____ 日
			土佐希望の家	1ヶ月に _____ 日
			国立病院機構 高知病院	1ヶ月に _____ 日
			幡多希望の家	1ヶ月に _____ 日
			その他の事業所名: _____	1ヶ月に _____ 日
	日帰り		療育福祉センター	1ヶ月に _____ 日
			土佐希望の家	1ヶ月に _____ 日
			国立病院機構 高知病院	1ヶ月に _____ 日
			幡多希望の家	1ヶ月に _____ 日
			その他の事業所名: _____	1ヶ月に _____ 日
その他(具体的に記入してください。)			事業所名: _____	1ヶ月に _____ 日

1)福祉サービス利用の有無

福祉サービスの利用は少ない状況である。

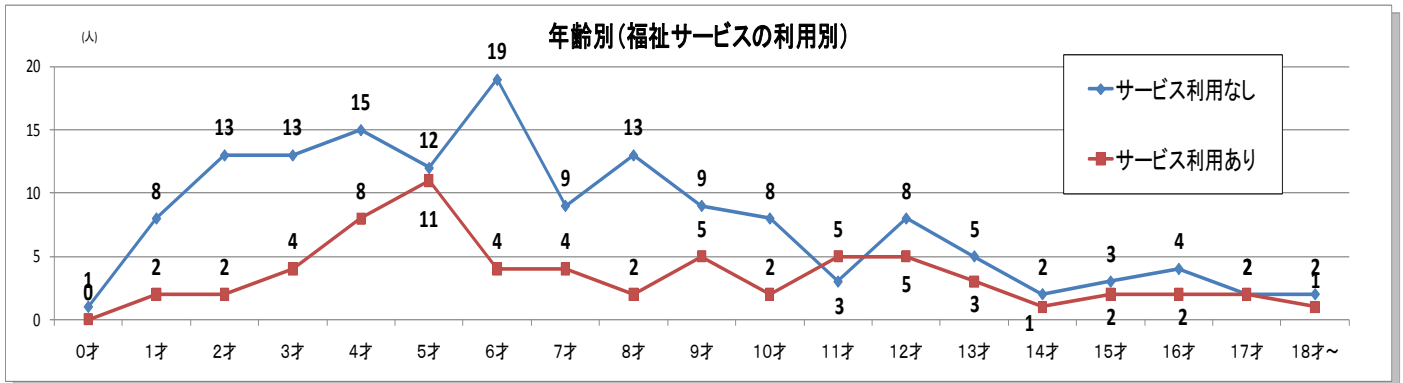
【利用の割合】

- ・ 利用なし 70%(149人)
- ・ 利用あり 30%(65人)



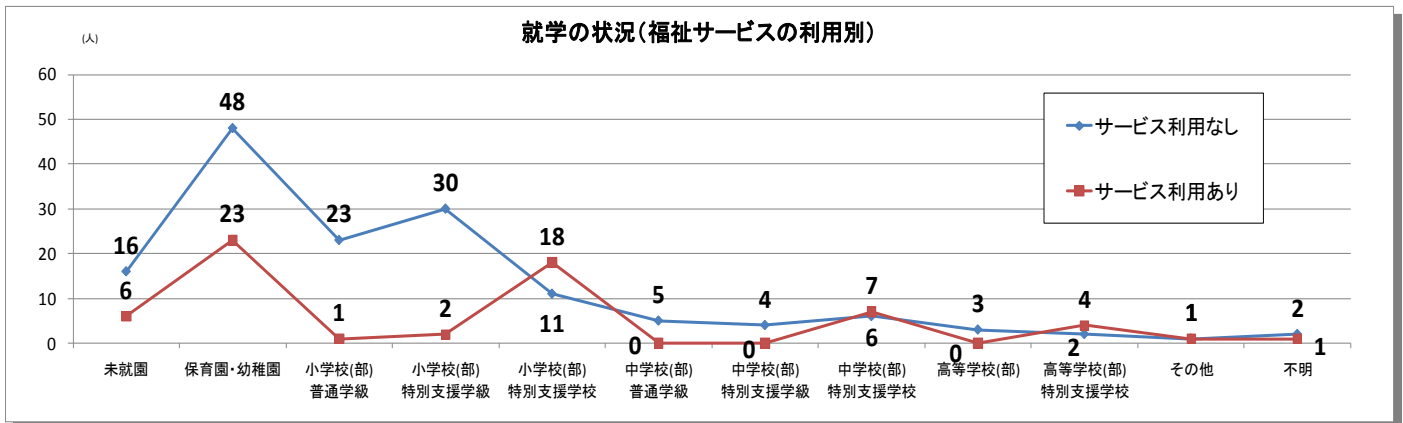
2)年齢別の状況

特に1~4才と、6~10才の年齢層が、福祉サービスの利用が少ない。

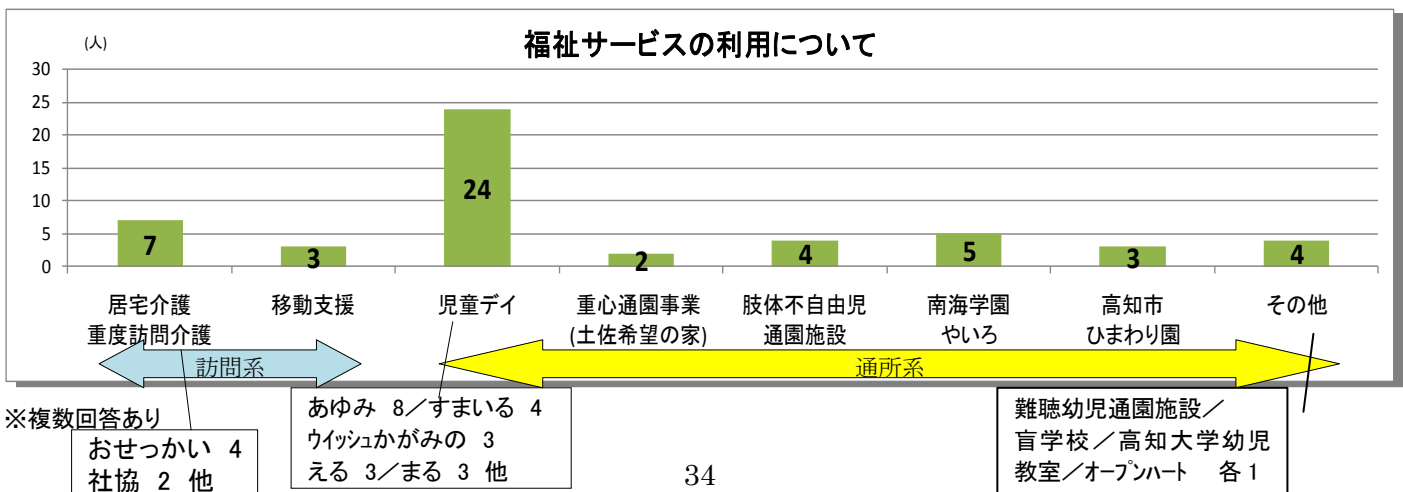


3)就学別の状況

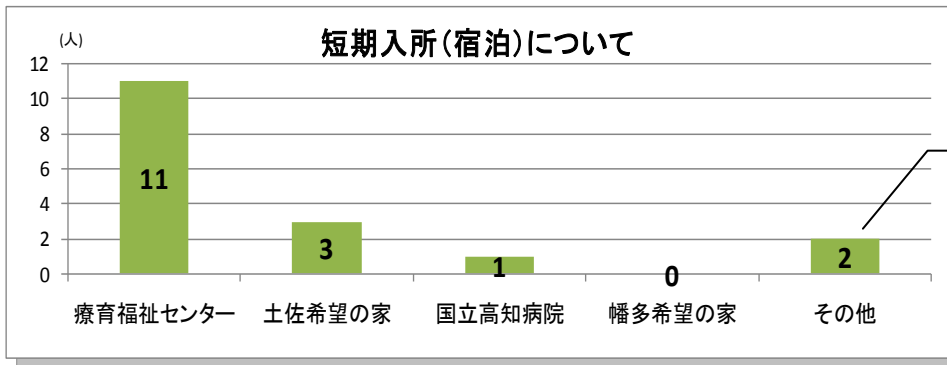
未就園や保育園・幼稚園、小学校の普通学級や特別支援学級の方が、福祉サービスの利用が少ない。



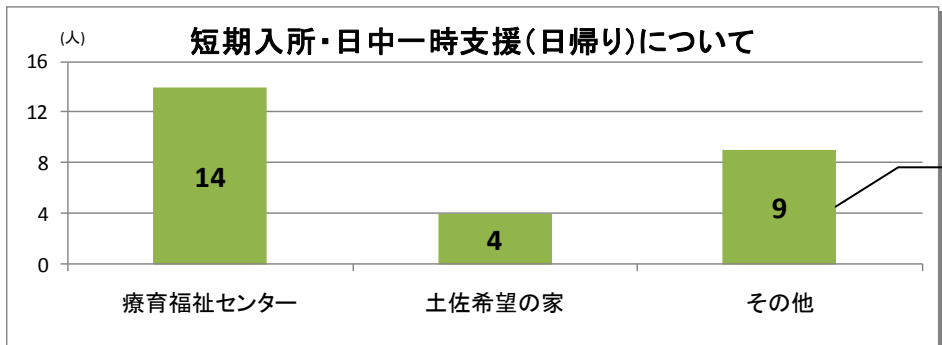
4)どのような福祉サービスを利用しているか



<ショートステイ(短期入所・日中一時支援)>



南海学園
かがみの育成園
各1



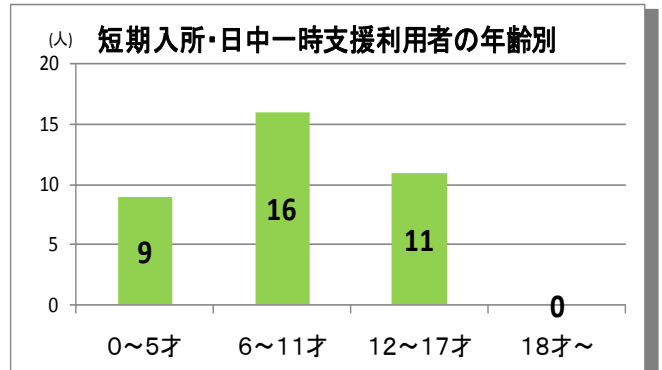
きらり 5 / すずめ 4 /
あっぱれ 2 /
光の村・きてみや
各1

※複数回答あり

※短期入所・日中一時支援利用者(実利用者数:36名)の状況 (年齢別・疾病別・身体障害者手帳の等級別)

(年齢別)

6～11才が16人(44%)と最も多く、夏休みなどの長期休暇中の利用が多いためと考えられる。

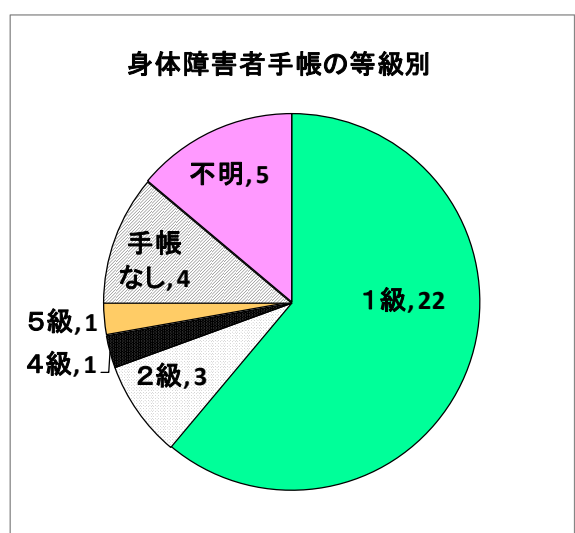
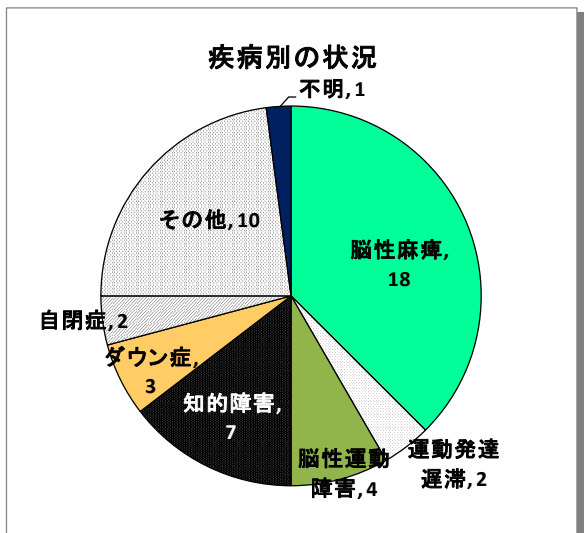


(疾病別)

小児整形外科を受診していると考えられる脳性麻痺、脳性運動障害、運動発達遅滞の合計は24人(約半数)

(身体障害者手帳の等級別)

1級が22人(60%)、2級が3人(8%)で、合わせて全体の68%を占める。



設問6 「設問5」でお答えいただいた福祉サービス等の利用について、あてはまるものに○をしてください。

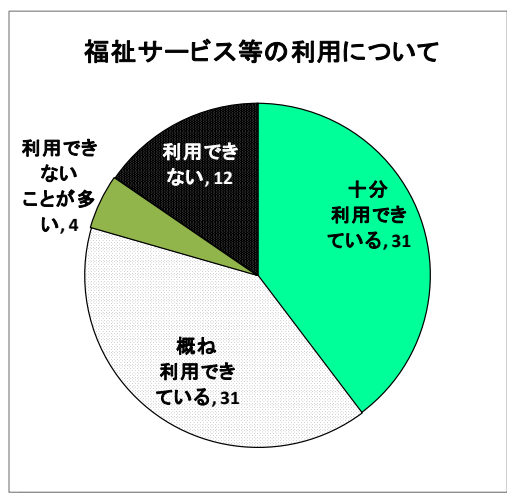
- ・ 必要なサービスが十分利用できている。
- ・ 十分ではないが、必要なサービスはおおむね利用できている。
 (どのようなサービスをどのように充実すべきなど、ご意見があれば記入してください。)
- ・ 必要なサービスを利用できないことが多い。
 (どのようなサービスがどれくらい利用できないことが多いのか、記入してください。)
- ・ 必要なサービスが利用できない。
 (どのようなサービスが利用できないのか、また、そのサービスは月にどれくらい利用が必要か、記入してください。)

1) 福祉サービス等の利用が十分できているか

「十分又は概ね必要なサービスが利用できている」との回答が約79%となっている。

しかし、「概ね利用できている」という方の中でも、多くの方から『サービスの充実が必要』といった意見をいただいております、ニーズに応じたサービスの充実が求められている。

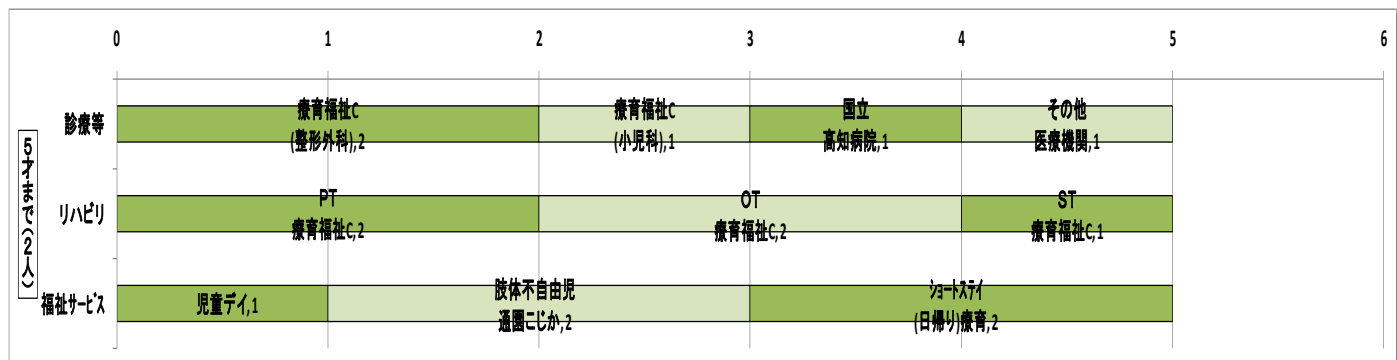
また、『どのようなサービスが受けられるのか分からない』といった意見もあり、情報の提供や周知が課題であると考えられる。



◎意見の要旨	
・ どのようなサービスが受けられるのか、よくわからない。手続きの仕方もわからない。 周知してほしい。(同様の意見: 3件)	
・ 長期休暇や土日などに預かってもらうところがない。(同様の意見: 6件)	
・ インフルエンザやウイルスなどの病気の際は必ず断られて、親が入院や手術のとき、どうすればいいのかがいつも不安を抱えている。	
・ ショートステイなど実際行きたくても、自力歩行ができるからと受け入れてくれるところがない。 受け入れ先が少なく、なかなか利用できない。(同様の意見: 6件)	
・ 学校への移動サービスなど通学のサポートが受けられない。	
・ サービスの場を増やすとともに、指導できる人の育成をしてほしい。	
・ 高齢者は地域で見守りがあるが、障害児は地域で見守ってもらえない。行政に相談しても、今すぐのことにはならないと言われ、結局サービスを利用したくても、利用することなく、子どもは大きくなった。一番苦しいときに、行政は何も支援してくれない。	

※ 重症心身障害児(身障手帳1・2級、療育手帳A)の状況

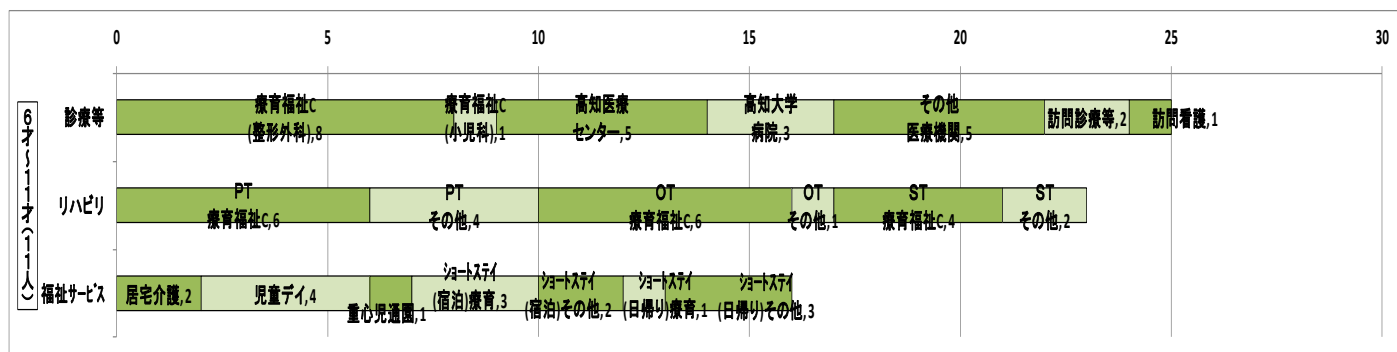
① 5才まで (2人) ※人数が少ない。



② 6～11才 (11人)

外来診療受診・・・延べ22件 (療育福祉センター9件、その他の医療機関 13 件)

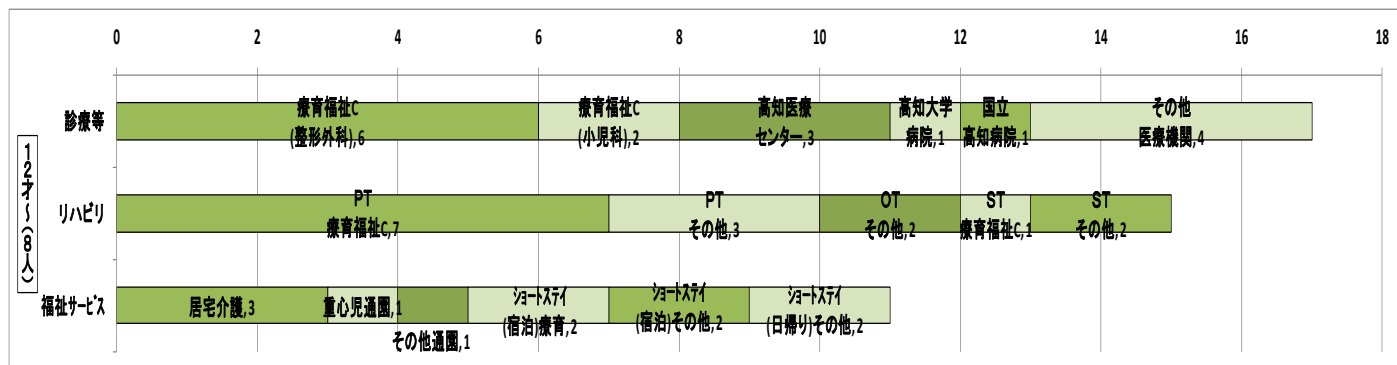
福祉サービス・・・ショートステイが9件と最も多いが、そのうち療育福祉センターの利用は4件となっている



③ 12才以上 (8人)

外来診療受診・・・延べ17件 (療育福祉センター8件、その他の医療機関9件)

福祉サービス・・・ショートステイが6件と最も多いが、そのうち療育福祉センターの利用は2件となっている



○相談の状況

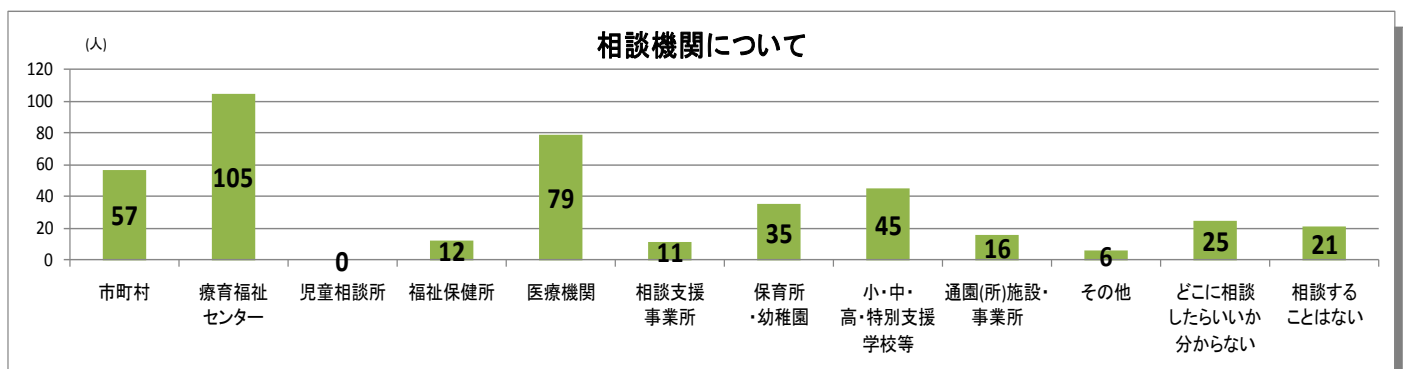
設問7 医療や福祉サービスの利用などについて、日ごろ相談している機関はどこですか。
あてはまるものすべてに○をしてください。

機 関	あてはまる ものに○	機 関	あてはまる ものに○
① 市町村(保健師等)		⑦ 保育所・幼稚園	
② 療育福祉センター		⑧ 小学校、中学校、高等学校 特別支援学校等の教育機関	
③ 児童相談所		⑨ 通園(所)施設・事業所	
④ 県の福祉保健所		⑩ その他の機関 (_____)	
⑤ 医療機関		⑪ どこに相談して良いか分からない	
⑥ 相談支援事業所		⑫ 相談することはない	

1) 日ごろ相談している機関

療育福祉センターが105人と最も多く、続いて医療機関が79人、市町村が57人となっている。

また、どこに相談したら良いか分からない方が25人(12%)おり、市町村や療育福祉センターをはじめ、こうした方に対するアプローチ方法などを検討する必要があると考えられる。



※複数回答あり

○療育福祉センターについての意見

設問8 療育福祉センターに関して、期待することやご意見などがあれば、記入してください。

◎意見の要旨
<医師や職員について>
・医師が少なく、予約が取れない。
・学校に通っているため、リハビリを受ける時間帯が放課後になるが、その時間帯は予約が取れないため、月1回しか受けられないことがある。先生の補充をしてほしい。
<対応について>
・親として子どもにとってどの選択肢がよいのかいつも不安がつきまとう。でも、理学療法士、作業療法士さんが相談によくのってくれ、感謝している。
・ある日突然の病気で何の覚悟もないまま、後遺障害と言われ、病院のことやリハビリのことなどいろいろおしえてもらい、家の都合であまり通えなかったが、ありがたかった。
・玄関に入ってすぐの相談窓口の対応にショックを受けた。言葉遣い、態度もあまりいい印象がもてなかった。
・もう少し向上心を持って子供に接してほしい。プログラムをこなしているだけで本当に子供達にそうさせたいような意欲が全く見られない。
・電話の対応や受診時の対応など、先生、看護師、みなさんがとても優しくて質問もしやすい。これからも、いつでも行くとほっとできる療育福祉センターでありつづけてほしい。
<業務等について>
・必要な時に、必要な支援が受けられるような施設になってほしい。
・以前母子入所のシステムがあったとき相談できる看護師がいた。他のお母さんたちとつながれるよう働きかけてくれて人たちがいた。ありがたかった。どんな形でもいいから、センターに行けば、相談できる人達がいるような環境にしてほしい。高知県のセンター的な役割が担える施設にしてほしい。
・療育福祉センターが縮小傾向にあるように感じ、将来に対する不安感があります。障害者や家族の相談窓口としてもっと頑張してほしい。
・土日に託児付きで親に対する学習の場を作ってほしい。訪問リハビリの体制も作ってほしい。
・自宅でリハビリができる訪問のような体制があればいいと思う。
・東部の方にも週1回、月1回でも良いので来て診察や訓練を行ってほしい。
・医療的ケアが必要な子供達の短期入所の充実。
・療育福祉センター分室として、東部に設置してほしい。
・部署ごとの縦割りで横の連携が取れていない。利用者は同じ療育センターの中のサービスを利用し

ているので、ひとつの部署でお願いした事を、他のサービスでも話しをしなくてはならない事は大変。また、療育手帳を取ってサービスを利用する際に、手帳がまだできていないかと確認される事があったが、市町村の担当者に聞くと、療育センターでの判定ができていないので、療育センターに聞いてみてはと返される事があった。サービスの詳しい内容も相談も情報の共有がないと感じたので、ワンストップで全て相談や説明が受けれる窓口、担当がほしい。利用している家族は不安(何を聞きたいのかわからない)が大きいので、ワンストップで解決できる場所がある。

<情報の提供について>

- ・子どもに障害があると分かった時、療育福祉センターという機関があることを知らなかったもので、もっと世間の人々に知ってもらいたいと思う。
- ・見て分かるように様々な情報を掲示してもらいたい。スタッフからも教えてほしい。
- ・情報提供の充実をお願いしたい。
- ・医療や福祉サービスの利用など、どこに相談していいのかわからない。相談場所があればと思う。
- ・こちらから聞かないと情報を知らせてくれないので、問わなくても教えてほしい。
- ・障害福祉のしおりが、わかりづらく、できあがるのが年度途中のため、不便。丁寧な説明がほしい。

<ハード面について>

- ・雨天時の車の乗り降りが非常に不便。屋根のところでも降りても子供を一人置いて車の移動をしないといけませんが、安全面ですごく不安。今のままでは雨の日は行く気にならない。
- ・初めて行ったときに、病院とは違う独特の暗い雰囲気の影響を受けた。親としては、心配、不安の中、初めて訪れる場所なので、もう少し明るい雰囲気を持てるような場所になればと思う。
- ・予算がないのは分かっているが、建物をはじめ、おもちゃも古いものが多い。
- ・子供を連れてトイレが使用しにくい。
- ・OTの部屋の仕切りをきっちりやって個室化してほしい。子供が療育に専念できない。
- ・災害などの緊急時、自宅や学校など備えをしていますが、車イスで避難しろと言われても動きは限られてしまう。緊急時、家族まるごと受け入れていただける避難所としての役割も考慮してもらいたい。
- ・各受付の場所を分かりやすくしてほしい。

